

## 12月市議会定例会

### 一般質問

12月7日(火)から12月9日(木)の3日間の日程で、11人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介しています。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

### 12月7日(火)

#### 自民クラブ

藤田 幸正議員 (30分)



#### (1) 市政運営について

① 新型コロナウイルス感染症対策

② 財源確保と予算編成

#### (2) 消防行政について

① 消防団員の処遇等

② 南消防庁舎

(3) 水道事業と下水道事業の経営について

#### (4) 農業振興について

① 新居浜農業の進む道

**問** 小規模零細農家が主流の新居浜農業も、食料の安定供給と

農地の多面的機能を守らなければならぬが、諸問題も多い。問題解決に向け総合的に勘案し、今後の新居浜農業の進む道など、農業振興に取り組む考え方を伺う。

**答** 本市農業の課題の多くは、農業が職業として選択されるだけの収益が上げられていないことに起因すると認識しており、どう収益が見込める農業へ転換していくかが大変重要な視点となってくるため、適地適作を基本とし、水稲を基幹作物とする地域複合農業の確立の推進や、少量多品目の農産物生産拡大を進め、単位面積当たりの収益性向上につながる高品質化と生産コスト低減を図っていく。

② 担い手の確保、育成、支援

③ 農地整備

④ 新居浜ブランド

⑤ 有害獣対策

**問** 農産物への被害だけでなく、市街地でも出没し危険性が増している。地域ぐるみでの防御への啓発活動の状況や、個体数減少への取り組み、ならびに免許取得者増員と、防護柵設置への補助枠拡大に対する考え方を伺う。

**答** 農業者や地域住民を対象に、イノシシ・ニホンザル対策の出前講座メニューを作成し、延べ4回、約100名に参加いただいている。引き続き講座内容などの周知に努める。新規狩猟免許取得者増加に向けては、県の補助制度を広く周知するなどの取り組みを行っていく。防護柵設置などの補助内容拡大については、被害状況や設置者負担などの状況把握に努め、他自治体の事例も参考に調査研究していく。

#### 公明党議員団

黒田 真徳議員 (30分)



#### (1) ワクチン接種について

① 新型コロナウイルス

② インフルエンザ

**問** 新型コロナウイルス感染の疑いを避けるため、インフルエンザ予防接種を検討される方が増えている。家族が多く接種費用の負担が大きくなる多子世帯について、助成対象や、助成費用拡大の考えを伺う。

**答** 子ども、成人に対して、本市では中学3年相当、高校3年相当の年齢の方にのみ接種費用の助成を行っており、現在、助成対象の拡大は想定していない

が、子育て世代への経済的負担軽減の必要性については、国や県の動向、県内他市の状況を参考に、指定医療機関や関係団体との調整も含め、実施の可能性について調査していきたいと考えている。

(2) 水道管の検査について

(3) 介護について

① ケアラー支援

② 受領委任払い

(4) 女性の一時的住居について

**問** 配偶者からのDVなどから自身や子どもを守るために、突然住む所を失う母親がおられる。そのような方のために、すぐに入居できる一時的な住居を用意する取り組みを行ってはどうかと考えるが、ご所見を伺う。

**答** 生命や心身への危険性に応じて、警察署や児童相談所、社会福祉協議会などと連携し、一時的なホテルの使用などの緊急避難支援やシェルターへの緊急一時保護、借家の案内などの対応を図っている。一般的に住居の確保に配慮が必要な方については、公営住宅の確保、社会福祉協議会での借家の案内などのセーフティネットが用意されていることから、一時的な住居

を用意する考えはない。

- (5) 遊休農地について
- (6) 保育施設の設備について
- (7) 水辺空間の利用について
- ① 海岸線
- ② 水辺のイベント
- (8) 市民活動の保険について
- (9) 防災行政無線について

新居浜の未来を考える会  
合田晋一郎議員(30分)



① 四国新幹線について

**問** オール愛媛で、2037年開業を目指し取り組んでいる四国の新幹線を実現するには、「新幹線を四国に！」との地元の高い思いが必要だが、市長の思い、市の取り組みを伺う。

**答** 四国は新幹線の具体的計画のない唯一の地域であり、四国内外とのアクセスが向上し、経済、観光分野で多大な効果をもたらす四国への新幹線導入に期待している。折しも昨年6月に新居浜駅開業100周年を迎え、この歴史的な節目に、新居浜から四国新幹線の実現に向けて機運を盛り上げていくことは重要であるので、引き続き愛媛県新幹線導入促進期成同盟会とも連携

し、取り組んでいきたい。

② 魅力あるまちづくりについて

- ① 市民文化センター
- ② 総合運動公園
- ③ 新居浜駅周辺

④ 駅南地区の町づくりは、平成28年の構想から方針決定に至っていないが、民間事業者の開発が進む中、乱開発とならないよう市はどのように関わることが伺う。

**問** 駅南地区の町づくりは、平成28年の構想から方針決定に至っていないが、民間事業者の開発が進む中、乱開発とならないよう市はどのように関わることが伺う。

**答** 多様化する市民ニーズに対応するため、民間活力を活用した町づくりを推進していくことは有効であると考えられる。現時点では、開発などの抑制はできない状況だが、JAなどの大規模土地所有者と協議を行うことで、目指すべき都市拠点の形成につながるよう努めていく。また都市拠点の形成には、適正な土地利用が重要な要素であることから用途地域の指定についても併せて検討していく。

- (3) 都市計画道路の見直しについて
- (4) マイナンバーカード簡単窓口について
- (5) 夜間中学について

12月8日(水)

自民クラブ  
伊藤謙司議員(30分)



- (1) 移住者支援について
- (2) 観光客の集客について
- (3) 小中学校のタブレット端末について
- (4) 消防防災合同庁舎について
- (5) 火災警報器について

⑥ 火災警報器について

**問** 火災が多く発生する時期、自宅用火災警報器は命を守る重要なツールである。自宅用火災警報器の設置率はどうなような推移か。市内の火災警報器の故障の調査、指導などは行っているか。

**答** 設置率は令和元年の70%から現在78%に上昇しており、全国平均の83・1%に近づいている。今後もさらなる設置促進に向け、普及啓発活動を継続していく。設置済みの火災警報器については、作動確認していただき、音が鳴らない場合は取り換えをお願いしている。また、設置後10年を目安に新品への交換をお願いしている。

- (6) 公園整備事業について
- (7) 地方祭について

**問** コロナ禍の中、年間を通して祭りの開催を協議しておくべきだと思う。急にガイドラインを決めるのではなく、早めに話を進めていく方が混乱も少なくなるのではと思うが、行政としての考えは。

**答** 市が太鼓台の運営に直接関わることとはできないと考えているが、新型コロナウイルス感染症の状況を総合的に判断し、9月に運行の自粛を要請したのは市民の命と暮らしを守るための苦渋の決断だった。事故のない楽しい祭りとするのが文化・観光面に大きく寄与するものと考えている。市としては観光客誘致に向けた情報発信や警備費用などの支援を行ってきたおり、これまでと同様太鼓祭りへの関わり方を継続しながら観光振興に努めたいと考えている。

無会派  
井谷幸恵議員(10分)



- (1) 介護ヘルパーの増員について
- ① 現状
- ② 養成の体制と処遇改善
- (2) マイナンバー制度について
- ① 現状
- ② 三分野での運用

(3) 教員の増員について

公明党議員団  
河内 優子議員 (30分)



(1) がん検診について

(2) グリーフケアについて

(3) 医療的ケア児について

(4) 女性の労働環境について

(5) 建設業関係の人材不足について

(6) 男性職員の育児休業について

(7) 救急車の適正利用について

**問** 救急車をタクシー代わりに使用するなど、利用に問題がある。救急安心センター事業は、電話で専門家に病状緊急度について相談でき、適切に助言してくれる。救急車の適正利用に有効と考えるが、お考えを伺う。

**答** 救急安心センター事業の普及促進は、他市町での実績を踏まえ有効であり、医療機関における時間外受付者数が抑制されるなど、医療機関の負担軽減にもつながるものと考えている。現在、愛媛県消防長会で導入することが決定し、愛媛県消防長会事務局と県が実施に向けて協議を進めているため、協議結果を受け、対応していきたいと考えている。

(8) バスでの通院について

(9) 制服の自由選択について

**問** 全国的に性別に関係なく制服の自由選択を導入する学校が増加している。多様な社会の広がりや性的少数者への配慮を意味するものと考えている。防寒や機能性を考慮し、制服の自由選択や標準服採用のお考えを伺う。

**答** 制服の自由選択制は、思春期に性の自己認識をすること、性的少数者が持つ違和感や苦慮への配慮をすると同時に、スラックスをはくことによる冬の寒さ対策にもなるものと考えている。本市の共通の標準服採用については、子どもたちが自分で制服を選べる自主性を尊重することは大事だと認識しているが、現在のところ予定していない。各学校が児童生徒や地域の実態に応じて対応するものと考えている。

自民クラブ

藤田 豊治議員 (30分)



(1) 市政運営について

① 総合運動公園と市民文化センターの建て替え

**問** 「第六次長期総合計画」、「第二期総合戦略」を柱として、健

全かつ将来を見据えた財政基盤の確立に取り組む中で、大型事業である「総合運動公園」と耐用年数を迎える「市民文化センター」の建て替えの考えを伺う。

**答** 総合運動公園については、具体的な整備方針などの検討、概算事業費の算出のため、令和4年度中に基本計画の取りまとめをしたいと考えている。市民文化センターについては、令和9年度までは現施設を使用することとしており、今年度中に新施設の建設場所を決定したいと考えている。現在、整備費用やスケジュール、市民の利便性など、建設場所に係る最終的な協議を行っている。

② SDGs 推進企業登録制度  
③ 防災・減災対策の強化、充実について

- ① ため池の水位管理
- ② 盛土造成地点検
- ③ 急傾斜地崩壊対策事業
- ④ 浸水想定区域と土砂災害警戒区域

- ⑤ 学校の避難計画
- ⑥ 学校の浸水対策
- ⑦ 個別避難計画
- ⑧ 高機能救命ボート訓練
- ⑨ 防災センター

**問** 大雨などの中、ため池の水位点検者の安全と住民の安心感が得られる、ため池樋門自動開閉装置が水位変化監視システムの導入状況は。浸水想定区域と土砂災害警戒区域に立地する市立幼稚園と小中学校での避難計画の状況は。

**答** 今年5月に防災重点ため池を管理する土地改良区12団体に意向調査を行った結果、3団体にシステム導入の意向があった。今後、管理経費の負担やシステム導入による課題などについて整理し、協議などを進めていく。避難計画については、浸水想定区域および土砂災害警戒区域に立地する市立幼稚園および学校は全て避難確保計画を作成している。

12月9日(木)

無党派

片平 恵美議員 (10分)



(1) 中学校の校則について

- ① 教育的意義
- ② 見直しについての教育委員会の取組
- ③ 見直しへの生徒の参加
- ④ 校則の公開



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ  
映像配信や会議録でさらに詳しく！

情報セキュリティ研修などで、スキルの向上を図るとともに、情報技術職員の採用や高度デジ

かがか。  
**答** 県の人材育成研修や本市の情報セキュリティ研修などでスキルの向上を図るとともに、情報技術職員の採用や高度デジ

**問** デジタルトランスフォーメーション、いわゆるDXの推進に向けた本市職員の人材育成に加え、人材確保も眉の課題と考えるが、本市ではどのように取り組むか。また、DX推進における本市の今後の展望はい

新居浜の未来を考える会  
神野 恭多議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症対策について  
(2) DXの推進について

無党派  
小野 志保議員 (10分)



(1) 健康被害の把握と認識  
(2) 未然防止対策  
(3) 啓発  
(2) 災害発生時の庁舎内対応について

タル人材を県内市町でシェアする仕組みづくりにより、人材確保に努めていく。本市では、官民共創によるDXの推進、DX

協働宣言に基づく県市町が一丸となったDXの推進、庁内横断的なプロジェクトチームによる調査研究を行っており、さまざまアイデアや取り組みについて、検討を進めていきたいと考えている。

(3) 学校における教育相談の充実について

**問** 国の示す地域部活動を含む今後の在り方について、本市のご所見はいかがか。さらには、教員への肉体的、精神的負担に加え、金銭的な負担の大きさ、これら全てにおいての見直す機会にすべきと考えるが、いかがか。

(4) 今後の部活動の在り方について

自民クラブ  
越智 克範議員 (30分)

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について  
(2) 第六波感染対策に向けた取組策について  
(2) 感染者の後遺症対策  
(2) ヤングケアラーについて

の負担軽減についても見直していきたいと考えている。

**答** 部活動は、生徒の自主性、協調性などを育成し、仲間や顧問などと絆を深めることのできる教育活動であることから、国の実践研究の結果や本市の状況、学校、生徒、保護者、地域の思いも踏まえながら、部活動を持続可能なものとするために、今後の在り方を検討していく。またその検討の中で、教員

(5) 東新学園について

**問** ヤングケアラーとは家族や兄弟の世話をを行う18歳未満の子どもを指すが、国および各自治体はその支援を積極的に実施している。本市の取り組み状況について伺う。

(1) 第六次長期総合計画について  
(1) 公共交通の整備  
(2) 子育て支援のさらなる充実  
(4) 滝の宮公園大型複合遊具の施工不適合について

**答** 現在、6世帯9人の子どもをヤングケアラーとして把握しており、スクールソーシャルワーカーや児童相談所などと家庭への同行訪問などを実施し、個々に必要な支援を継続して行っている。また、子どもたちは、自分自身がヤングケアラーであると認識していることが少ないことから、相談窓口を明記したチラシやポスターを小中高等学校に配布し、子どもたちが気軽に相談できる環境づくりに

努めている。

(5) 災害時等におけるドローンの活用について

**問** 現在、滝の宮公園において本格的な大型遊具の設置工事を実施中だが、安全性に関わる基礎部分に施工不適合が見つかっている。再発防止の観点から対応状況について伺う。

**答** 施工業者に対し、是正報告書の提出を指示し、再発防止に対する施工管理の徹底を確認した。その上で、通常の工事より監督員の現場立ち会いの回数を増やし、現場施工状況を日々報告するよう指示して、適切で確実な施工を速やかに実施するよう努めた。今回の事例や問題点について、職員に十分周知し、このようなことを二度と起こさないよう、現場監督業務における管理や確認を徹底していく。

議事課  
☎ 65 - 1321  
FAX 65 - 1322